

報
ら
か
静岡市相撲連盟
川上明廣
会長 28年8月
平成 349号

静商相撲部OBちから会
昭和30年から会創立
昭和39年11月初刊
会長 細倉涼太
事務局 大江弘文

8月の行事

8月21日(日) 大谷相撲場 午前8時集合
第14回(通算70回) 静岡市民相撲大会

・・・・・・・・・・・・

9月4日(静岡城北相撲場) 午前7時集合

第39回静岡県少年相撲選手権大会

☆ 7月30日(土) 平成28年度第6回中体連

総合体育大会相撲競技が富士宮北高校相撲場で開催し、県下から68名の出場者があり、静岡市代表、見城孟徳(末広中)、望月悠太(由比中)2名が出場。

すべて、無差別のトーナメント戦で行われたが、両2名選手2回戦で敗退となり、残念な結果で終了。

(岩崎・川上・大江・中村・武・森)

☆ 7月31日(日) わんぱく相撲全国大会(国技館)へ4年生の部で出場の酒井くん一回戦で敗退した。本人とて生涯の経験を積んだと思い、今後の活躍に期待したい。

(国技館へ 武・森)

☆ 第21回世界相撲選手権大会(下村勝彦)

第12回世界女子相撲選手権大会がモンゴル

ウランバートルで7月30日、31日の二日間にわたり開催された。

世界各ブロックより選出された、22カ国の選手が参加し、モンゴルでは初の世界、アジア大会の開催となり、熱戦が展開された。本県からは、山中未久(立命館大職員・静商出)と、世界ジュニア女子の部に渡邊七海(飛龍高校1年)の2名が出場した。

個人軽量級出場の山中は、決勝で最大のライバルであるウクライナのボイコバ選手に、上手投げで敗れ優勝を逃す。

二日目に行われた第7回アジア大会軽量級でも、モンゴルのウダガサヤ選手に敗れ、この大会2連覇を逸した。

渡辺は、初出場ながら健闘し、団体優勝のかかるモンゴル戦、1-1の大将戦で大熱戦の末え、寄り切り破り、日本の6連覇に貢献した。

葬送も相聞もあり蝉しぐれ	静商 溪声俳句会
夕立や無住の寺の庇借る	岩崎 安次
人かけのなき廃校の蟬しぐれ	高橋 章
夕立に見知らぬ人の会話かな	佐藤 芳朗
姥捨の芭蕉の句碑や雲の峰	加賀美 幸
憂いごと多き世情や火取虫	康紀 峰雄
雲の峰荷揚げせはしき埠頭かな	永田 秀峰

個人戦は重量級に出場、決勝リーグ戦3勝1敗の好成績を挙げ、第2位で入賞した。

現在相撲は、8カ国へ普及が進む中、今大会の結果からも外国選手のレベルが、さらに向上している事は確かであり、喜びたい。

一方でエジプトなど、数カ国選手の競技マナーが悪く、今後の課題となる。

尚、この大会の開会式に横綱白鵬、日馬富士の両

横綱が参加、7,000人の観衆が総立ちの中、大

歓、大拍手で迎え、最高に盛り上がった。

この日大会終了後、大草原の中のゲルで開催された選手歓迎式にも、民族衣装で白鵬が両親と共に出席、世界選手と交流を計り、選手達は大喜びであった。

閉会後、選手団がバスで宿舎へ帰る時、白鵬が馬

上にまたがり、最後まで手を振つて見送り、選手、

関係者を感動させた。

ウランバートルは、モンゴル中心都市であるが、水は飲めず、トイレも問題があり、自動車も多いが、交通マナーは悪く、信号無視は人も車も平気で行われ、驚く。時間は夏で日本と同時刻だが、朝は4時に明け夜は9時過ぎまで明るく、選手達は戸惑っていた。

大草原の緑の中に白く立つグルや、馬、羊、牛の放牧された群れの風景は、モンゴルでなければ見られない体験をさせてもらつた。

(続く)

・・・・・・・・・・・・

☆ 平成28年度焼津神社奉納相撲大会が8月12日(金)午後5時から開催。相撲教室生徒16名が参加、幼稚園・中学生の熱戦を繰り広げた。

祭り相撲とはいって、今年、来年と同じクラスで戦うので、各選手に(好きなように、しかし絶対負けるな)と気合を入れ、割り、3人抜き等で賞品をもらい選手ニコニコ顔で8時半終了。

・・・・・・・・・・・・

平成28年度ちから会会費納入誠に有難うございます。

石川嘉男・伏見さかゑ

(敬称略)

静岡市相撲連盟へのご寄付誠に有難うございます。
川上明廣・大江弘文・中村修一
(中体連総体会場にて)